

Wexler H., 1958: The "Kernlose" winter in Antarctica, Geophysica, 6.
White, F.D. and R.A. Bryson, 1967 The radiative factor in the mean meridional circulation of

the Antarctic atmosphere during the polar night, Proc. Symp. Polar Meteorol., Geneva, 1966, W.M.O. Tech. Note, 87, 199-224.

第20期第7回常任理事会議事録

日時 昭和54年3月19日 15.00~17.30

場所 東京管区気象台会議室

出席者 岸保, 小平, 浅井, 内田, 植村, 奥田, 河村, 関根, 新田, 松本, 増田

報告

- [庶務] 1. 2月23日, (財)日本証券奨学財団理事長 瀬川美能留氏から, 昭和54年度研究調査助成の募集依頼がきた(締切4月末日).
2. 2月27日, 東レ科学振興会会長田代茂樹氏から, 第19回(昭和53年度)東レ科学技術賞受賞者ならびに同科学技術研究助成金受領者決定通知がきた.
3. 地球科学研究協会理事長三宅泰雄氏から, 1979年度学術賞「地球化学研究協会三宅賞」の受賞候補者の推薦依頼がきた(締切9月1日).
4. 日本気象学会賞・藤原賞候補者推薦委員会担当理事沢田竜吉氏より, 選定理由書を添え選考経過報告書が送られてきた.
5. 3月17日, 第17回粉体に関する討論会世話人宇津木弘氏から, 同討論会共催依頼がきた.

[会計] 2月分の会計報告: 会費は順調にはいつてきている. 昭和54年度の予算書(案)のうち支出の部で山本賞10万円と計上しておいたが, 本年度は支出しないので削除し, その分を予備費に廻すこととする.

[気象研究ノート] 英国民間図書館から, "気象研究ノート", "気象集誌"を寄贈して欲しいとの申し出がきている. これについては調べて検討する.

[講演企画] 春季大会のプログラムを編成したが全部で169編である. シンポジウムは「中層大気の

組成と力学」である. 秋季大会のシンポジウムは, 九州支部から「室内実験による気象の研究」という申し出があった. 気候変動シンポジウムは, その2として続けて行ないたい.

[奨励金各賞] 岡田賞については, 「気象衛星業務の確立」で業績のあった寺内栄一氏(東京航空地方気象台長)を推薦した.

[長期計画] 次のとおり報告があった. 1. 気象衛星センターの“ひまわり”のデータの利用状況
2. 大学サイドの技術的要望: 共通的要望の討論の必要, 気象協会との話し合い, TIROS-N データ. 3. 筑波大型施設の共同利用問題. 4. ヨーロッパの衛星 METEOSAT のサービス調査(山元理事意見): 学会がクッションになって気象庁の外部の要望を把握 (A)長期計画委員会の調査として主な大学の教授にアンケート (B)または「天気」へアンケート掲載. 以上に対し, 長期的展望に立って計画を進める必要がある. 当面は学会活動の1プランチとしてまず山元理事の(A)を行なったらよい等の意見が交わされた.

[南極] Poles について予算がついた. 鉄塔を立てて観測をする. また, 北極のアラスカで降雨の観測をする.

議題

1. 昭和54年度学会賞・藤原賞の推薦について
沢田理事から提出された選考経過概要および推薦理由書について浅井理事から補足説明があった. 学会賞7件, 藤原賞6件のうちから次のとおり推薦があった.

日本気象学会賞: 大気境界層の構造に関する研究 横山長之(工業技術院公害資源研究所)
藤原賞: 日本の歴史時代の気候の分析 山本武夫

(山口大学名誉教授，徳山大学)

以上2件について全理事の書面審査を受けることになった。

2. 賛助会員の増強策について

奥田理事から，賛助会員勧誘のための趣意書(案)について説明があり，一部加筆訂正することにより原案が了承された。次回に具体策を検討することとした。

3. 日本気象学会創立100周年(昭和57年)記念事業について

3年後に迫った学会創立100周年に際し記念事業の計画について協議した。(1)気象学会史の作成

(2)講演者を外国から招待する (3)国際会議の招集

(4)“天気”“気象集誌”の特別号の刊行等 以上のことについて意見を出し合ったが，関係理事が集まって作成した計画(案)を次回常任理事会で検討したうえで5月の全国理事会に提案することとした。

4. 第17回紛体に関する討論会共催について

討論会の実施要領を“天気”に掲載することはさしつかえないが共催は遠慮させて貰うことにした。

5. その他

“気象集誌”“天気”の編集委員の交代について

気象集誌 青木忠生→会田 勝(横浜国立大学)

天 気 権藤光宏→栗原弘一(産業気象課)

以上承認

承認事項 宮部二郎ほか9名の新入会員を承認